

モニタリング結果報告書

| | |
|-------|---------------------------|
| 施設 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 指定管理者 | 社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 |
| 施設所管課 | 保健福祉部 福祉監査指導課 |

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告によるモニタリングの概況

| 報告月 | 受理日 | 確認通知日 | 備考(確認事項) |
|-----|-------|--------|----------|
| 4月 | 6月5日 | 6月10日 | |
| 5月 | 7月3日 | 7月10日 | |
| 6月 | 8月5日 | 8月12日 | |
| 7月 | 9月4日 | 9月10日 | |
| 8月 | 10月5日 | 10月9日 | |
| 9月 | 11月6日 | 11月10日 | |

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

1 総合性・高度専門性の発揮

(1) リハセンターの一体的な運営の推進

- ア 利用者窓口の一元化への取組み(神奈川リハ病院、地域支援センター、5福祉施設)
- イ 一貫した医療と福祉サービスの提供(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、2病院)

(2) 福祉施設の機能充実

- ア 中期入所枠の拡大と超・準超重症心身障害児者の受け入れへの取組み(七沢療育園)
- イ 日中支援機能の充実と入所定員の見直し(七沢学園)
- ウ 在宅医療重度者の支援に向けた入所支援サービスの充実(七沢学園)
- エ 強度行動障害事業への取組み(七沢学園)
- オ 被虐待児への支援(七沢学園)
- カ 七沢第一更生ホーム・七沢第二更生ホーム・七沢ライトホームの統合と機能見直し(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、七沢ライトホーム)
- キ 福祉施設の一体的な運営に向けた取組み(5福祉施設)

(3) 病院の機能充実

- ア 急性期病院等とのネットワークの強化(神奈川リハ病院)
- イ 精神科外来におけるデイ・ケア等への取組み(神奈川リハ病院)
- ウ 就労支援に向けた取組み(神奈川リハ病院)
- エ 理学療法士の卒後教育への取組み(神奈川リハ病院)
- オ 脳卒中地域連携パスの推進(七沢病院)
- カ 検査教育入院機能の見直し(七沢病院)
- キ 高次脳機能障害者の支援への取組み(2病院)
- ク クリニカルパスの推進(2病院)
- ケ 栄養療法の推進(2病院)
- コ 摂食・嚥下障害への取組み(2病院)
- サ 再生医療後のリハビリテーションの研究への取組み(2病院、研究部)

(4) 地域支援センター機能の充実

- ア リハビリテーション専門相談の充実
- イ 専門職員研修の充実
- ウ リハビリテーション情報の提供
- エ 一般県民等に向けたフォーラムの開催
- オ 高次脳機能障害支援普及事業の充実

(5) 研究・開発機能の充実

- ア 臨床的・実践的な研究・開発の推進
- イ 研究体制の見直し

- (6)地域の関係機関との連携強化への取組み
 - ア 福祉施設の地域社会との連携
 - イ 2病院の地域医療機関との連携
- (7)専門職員の育成
 - ア 専門研修等の充実
- 2 利用者本位のサービスの提供と安全対策
 - (1)人権擁護と個人情報の保護
 - ア 人権擁護と個人情報保護への取組み
 - (2)利用者サービスの向上対策
 - ア 支援マニュアルの整備(七沢療育園、七沢学園)
 - イ 発達障害児に対する支援プログラムの整備(七沢学園)
 - ウ 在宅障害児の集中療育の支援プログラムの見直し(七沢学園)
 - エ 日中訓練プログラムの充実(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、七沢ライトホーム)
 - オ 中期入所サービスへの取組み(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、七沢ライトホーム)
 - カ 高次脳機能障害への取組み(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム)
 - キ 若年の脳血管障害者や頸髄損傷者への支援(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム)
 - ク 視覚障害者への訪問訓練の導入(七沢ライトホーム)
 - ケ 視覚障害者への新たなスポーツ・レクリエーションへの取組み(七沢ライトホーム)
 - コ 神奈川リハ病院との連携によるロービジョン(低視覚障害)者の受け入れ(七沢ライトホーム)
 - サ 障害者歯科診療の実施(神奈川リハ病院)
 - シ 禁煙外来の設置(神奈川リハ病院)
 - ス 病院のリハ情報システムと福祉施設の利用者情報システムとの連携(神奈川リハ病院、七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム)
 - セ 土曜日リハビリテーション訓練の実施(七沢病院)
 - ソ 病棟内リハビリテーション訓練の実施(七沢病院)
 - タ 作業療法訓練(パソコン訓練)の充実(七沢病院)
 - チ レセプトのオンライン化の推進(2病院)
 - ツ オーダリングシステムの導入に向けた検討(2病院)
 - テ 電子カルテシステムの導入に向けた研究(2病院)
 - (3)自己評価・第三者評価等の推進
 - ア 第三者評価の推進(5福祉施設、2病院)
 - イ 自己評価や利用者満足度調査の推進(5福祉施設、2病院)
 - (4)安全対策の推進
 - ア 安全対策への取組み
- 3 効果的・効率的な運営
 - (1)採算性に配慮した運営
 - ア 利用計画の目標値の達成(5福祉施設、2病院)
 - イ 利用率向上への取組み(5福祉施設、2病院)
 - ウ 医師・看護師の確保への取組み(2病院)
 - エ 効果的・効率的な職員配置(全所属)
 - オ 予算・執行事務の適正管理(全所属)
 - カ 広報活動の推進(全所属)
 - (2)収益の確保対策と経費の節減対策
 - ア 収益の確保対策(5福祉施設、2病院)
 - イ 経費の節減対策(全所属)

<実施状況>

1 総合性・高度専門性の発揮

(1)リハセンターの一体的な運営の推進

ア 利用者窓口の一元化への取組み(神奈川リハ病院、地域支援センター、5福祉施設)

<七沢第一・第二更生ホーム>

・福祉施設一体化検討会及び福祉医療サービス連携推進会議で検討する。

イ 一貫した医療と福祉サービスの提供(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、2病院)

<七沢第一・第二更生ホーム、神奈川リハ病院、七沢病院>

・福祉医療サービス連携推進会議を開催し取り組みを実施(議題:会議開催目的、平成21年度の取組み)
(第一回5月15日、第二回7月16日実施)

21年度は、更生ホームのリーフレットの作成と、障害別(脳卒中・脳外傷・脊髄損傷)の病院、福祉における連続したプログラムの作成に取り組むことを確認した。

(2)福祉施設の機能充実

ア 中期入所枠の拡大と超・準超重症心身障害児者の受け入れへの取組み(七沢療育園)

地域のニーズは「適切な施設の利用を通して在宅生活、利用者・介護者の健康・健全な生活に維持」とであると認識しており、今後も可能な限り在宅重心者(超・準超重心者を含む)の受け入れを行なっていく。

今年度の実績は、小児科常勤医師が欠員状態となり、超・準超重心者及び医療重度の重心児者の受け入れを制限しており、利用率は93%である。

イ 日中支援機能の充実と入所定員の見直し(七沢学園)

各事業でプログラムを作成し、実施計画を基に実績と効果を見る準備をしている。

ウ 在宅医療重度者の支援に向けた入所支援サービスの充実(七沢学園)

今後検討を始める

エ 強度行動障害事業への取組み(七沢学園)

<県及び事業実施施設との連携>

県強度行動障害対策事業連絡調整会議への参加(年6回)

<地域支援>

- ・担当圏域への訪問調査を計画し下半期で実施予定
- ・短期利用の受け入れと関係機関との連携
- ・地域支援課と連携し「研修会」開催

<事業対象児者支援>

- ・対象は県事業対象者2名、予防的支援4名の計6名。心理科、医務課の業務協力を得て必要に応じたプロジェクト会議を随時開催。
- ・学齢児については伊勢原養護学校施設訪問教育と連携。
- ・成人のプログラムについてはマニュアルを作成し日中支援課生活介護班総体で対応。

<研修・研究・啓発>

- ・研究費にて専門書を購入し各所属に配布。
- ・内部学習会の開催。

オ 被虐待児への支援(七沢学園)

<利用者状況>

- ・平成20年8月1日現在30名定員中、20名が措置入所であるが、この割合は数年来変化なし。措置の要件は虐待が主であり、当園には身体的虐待、ネグレクトが多い。
- ・中央、厚木、相模原児童相談所とは、それぞれ年1回業務連絡会を設け、連携をとっている。利用者の8~9割がこの3児相管轄である。

<精神的ケア>

- ・期間を2年間とし、長いスパンの中でケアをしている。心理科と連携し、定期的な評価を実施し、障害特性の把握に努め、ケースによっては定期的な心理面接を実施している。

<アセスメント>

- ・個別支援計画を半年ごとにたて、その前にアセスメントをおこなっている。生活場面だけでは把握しきれない家族状況は相談科がフォローしている。学校教育については、訪問形式のため、教諭と連絡が密にとれる環境である。心理科との連携は上記のとおりであり、生活場面だけではなく、学校、心理科、相談科と連携し、幅広くケース状況を捉えている。

<家族支援>

- ・被虐待児、家族を支援するために、相談科及び短期入所の窓口で、出来るだけタイムリーな入所を心がけている。

今年度はすでに過定員で2ヶ月間、33条の一時保護が4件あった。

カ 七沢第一更生ホーム・七沢第二更生ホーム・七沢ライトホームの統合と機能見直し

(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、七沢ライトホーム)

- ・施設統合化検討委員会を設置し統合と機能見直しに向けた取組みを実施

○第1回検討会 平成21年4月22日(水)

議題:検討にあたっての基本的考え方の整理

○第2回検討会 平成21年5月13日(水)

議題:統合後の組織及び職員配置、居室の利用

○第3回検討会 平成21年5月27日

議題:日中訓練・地域支援、入所支援、居室活用

○第4回検討会 平成21年5月27日

議題:日中訓練、地域支援、居室活用、事務部門見直し

○第5回検討会 平成21年6月18日

議題:中間報告内容及び役員報告結果について

○第6回検討会 平成21年7月1日

議題:機能訓練担当、地域支援担当、居室建物活用、病院リハ局職員配置、統合後機能、リハ2病院と更生ホームとの関わり、職員配置積算書

○第7回検討会 平成21年7月22日

議題:役員調整結果

キ 福祉施設の一体的な運営に向けた取組み(5福祉施設)

・福祉施設一体的な運営に向けた検討会を設置

協議組織として「福祉施設一体化検討会議」、検討組織として「福祉施設一体化検討調整会議」、作業部会として「ワーキンググループ」の3層構造による検討組織による取組みを行うこととした。

○平成21年7月16日 福祉統合化に向けた準備会開催

○平成21年7月29日 福祉統合化に向けた第2回の準備会開催

今年度の検討内容等について確認した

(3)病院の機能充実

ア 急性期病院等とのネットワークの強化(神奈川リハ病院)

・20年度に東海大学医学部付属病院との検討会を設置した。21年からは、2ヶ月毎に相互の病院で東海大学医学部付属病院医療連携情報交換会を開催している。21年度の開催実績は5/18及び7/13である。

イ 精神科外来におけるデイ・ケア等への取組み(神奈川リハ病院)

・具体化に向けて、医師、ケースワーカー、心理判定員、職業指導員、事務職員から構成する検討会議を8月中に設置することとしている。

ウ 就労支援に向けた取組み(神奈川リハ病院)

<高次脳機能障害者の就労支援>

・復職者は6人であった。

・職場内リハビリテーション訓練は6名に実施した。

・地域就労支援機関等への支援を3回実施した。

<頸髄損傷者への就労支援>

・在宅就労に向けて支援を開始した利用者は2人であった。

・神奈川頸髄損傷者連絡会「在宅就労」の勉強会に講師派遣した。

・県商工労働部産業人材課職員への在宅就労者宅見学同行と説明を実施した。

エ 理学療法士の卒後教育への取組み(神奈川リハ病院)

・県内医療機関に勤務する理学療法士を対象とした卒後研修を実施した。(平成19年5月 要領制定)

・平成21年度は、参加しやすい卒後教育を実施するため、参加者の休暇(出張)のとりやすさ、受講料、プログラム構成、PT科の実行能力に関するアンケートを行い、その結果に基づき今年度の卒後教育を次のとおり実施・計画した。

・卒後臨床研修(H21年度)

目的:基礎的技術の習得

対象:臨床経験4年未満のPT

受講料:2万円

第1期 8月3日～8月7日(5日間) 4人参加

第2期 8月10日～8月14日(5日間) 3人参加

・専門臨床研修(H21年度)

目的:疾患別技術研修と交流

対象:臨床経験4年以上のPT

受講料:4万円

8月17日～8月28日(10日間) 3人参加

・県下の医療機関との技術交流を図り、当院が持つノウハウを他施設に還元することにより、県内のリハサービスの質的向上に寄与でき、併せて当院理学療法科職員の資質向上を図ることができた。

オ 脳卒中地域連携パスの推進(七沢病院)

・神奈川県第5次保健医療計画において、「疾病別の医療連携体制の構築」が位置づけられており、その中の脳卒中の地域医療連携パス形式の県下統一に向けて取組みが進められている。

・七沢病院では、現在、6つの地域連携パスのグループに参加し、さらに今後、川崎地域でグループ(聖マリアンナ医科大学病院を計画管理病院とする)が発足予定となっていることから、回復期の連携病院として参加して、大学病院等の急性期病院との連携を図り、患者確保につなげたい。

<脳卒中地域連携パスの実績>

平成21年4～7月 62件(参考:平成20年度 141件)

<連携状況>

①神奈川県西部脳卒中地域連携懇話会(東海大学付属病院)

・平成21年6月2日(火)19:00～21:00

・参加者 6名

- ②神奈川県央地区脳卒中地域連携パス(大和市立病院)
 - ・平成21年6月19日(金)18:30～19:30
 - ・参加者 5名
- ③神奈川県東部脳卒中連携の会(済生界横浜市東部病院)
 - ・平成21年7月3日(金)19:00～20:30
 - ・参加者 3名
- ④横浜西部脳卒中地域連携の会(聖マリアンナ医科大学横浜西部病院)
 - ・平成21年7月15日(水)18:15～20:30
 - ・参加者 5名
- ⑤「脳卒中連携パス」提携医療機関説明会(聖マリアンナ医科大学病院)
 - ・平成21年7月30日(木)17:30～20:30
 - ・参加者 3名
- ⑥「脳卒中地域連携協議会」(北里大学病院)
 - ・平成21年9月16日(水)17:30～18:30
 - ・参加者2名
- ⑦「横浜・川崎脳卒中広域シームレス医療研究会セミナー」「県下脳卒中地域連携パスグループ合同開催」(横浜市立大学附属病院 ヘボンホール)
 - ・平成21年9月23日(水)19:00～21:00
 - ・参加者 4名

<その他>

- ①湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会ワーキンググループ
 - ・神奈川県秦野保健福祉事務所
 - ・平成21年4月30日(木)18:30～20:00
- ②「脳卒中の地域連携:『脳卒中地域連携クリティカルパス』の導入」(山下病院長)

神奈川県医師会報(平成21年9月10日)号掲載

カ 検査教育入院機能の見直し(七沢病院)

- ・脳卒中の予防や再発防止に向けて、現在、実施している「検査教育入院(1週間～1か月の範囲)」のサービスメニューを見直し、生活習慣病の改善のためのより利用しやすい短期型メニュー(1泊2日、2泊3日)を加え、新たなサービス提供を行うため、検査教育入院部会において検討を行っている。

・検査教育入院部会開催

平成21年6月 3日、17日、8月5日、9月2日

・検討結果

名称変更:生活習慣改善入院

新たなメニュー:1泊2日短期体験コースを設定

見直しメニュー:長期実践コース(2週間から1ヶ月コース)

キ 高次脳機能障害者の支援への取組み(2病院)

<神奈川リハ病院>

- ・高次脳機能障害者の就労支援の復職者は6名で、職場内リハビリテーション訓練を6名に、地域就労支援機関等への支援を3回実施した。
- ・地域支援センターがH21.8.29に開催する、「脳外傷等による高次脳機能障害者に関する医療・福祉・行政関係者・患者家族等」を対象とした「高次脳機能障害セミナー」に対し、医師・CW・心理判定員・OT・職業指導員等が協力し、講演を行った。
- ・高次脳機能障害セミナー講演集の作成・配布
平成21年2月に行われた高次脳機能障害セミナーでの講演内容を記録に残し、医療や福祉の現場で活用できるよう講演集としてまとめ、当事者団体等に配布を行った。
地域支援センターが中心となって取りまとめたが、病院職員(医師、リハスタッフ)も担当した部分の整理に協力した。

<七沢病院>

- ・入院患者の40%強に言語障害があり、失行・失認は20%強の患者に見られ、多く患者が何らかの高次脳機能障害を有し、日常生活に支障をきたしている。これらの高次脳機能障害者に対して、在宅生活適応能力の向上を図るため、臨床心理士、PT、OT、ST、看護師等による総合的アプローチを引き続き実施している。

ク クリニカルパスの推進(2病院)

<神奈川リハ病院>

- ・医療の質の向上を図るため、脊髄損傷、高次脳機能障害、変形性股関節症(術中を含む)、小児脳損傷、脳血管障害にクリニカルパスを導入し実施している。21年度、特に見直しは行っておらず継続実施している。

・実施状況

平均在院日数の短縮、安定的治療、ベッドコントロールの円滑化が図られた。

・各クリニカルパスチームのパスミーティング

変形性股関節症→毎週、脊髄損傷→2週1回、高次脳機能障害(リハ科/脳外科)→毎週、
小児脳機能障害→毎週、術中(変形性股関節症)→随時実施

・クリニカルパス全体会議→年1回

各クリニカルパスの現状報告

<七沢病院>

・医療の質の向上を図るため、引き続き、2つのクリニカルパスにより実施している

入院から退院までの一貫した流れの図式ができ、患者を含め情報を横断的に共有できることで
入院期間の短縮やチーム医療の徹底が図られている。

・クリニカルパスの種類

脳卒中リハビリテーション・クリニカルパス、検査教育入院クリニカルパス

ケ 栄養療法の推進(2病院)

<神奈川リハ病院>

・医師、栄養士、看護師、検査技師等で構成する栄養サポートチームによる栄養療法を実施した。

他に入院患者全員を対象とした栄養管理計画書を作成した。

・実施状況

NSTは医療の質の向上に向けて、病状の早期回復や感染症の予防等に効果がある。

平成21年度対象者 2名

<七沢病院>

・入院時栄養スクリーニングは全患者に実施されるようになり、NSTの介入を必要とする患者に対し、
医師、看護師、管理栄養士をはじめ、担当する療法士等を含めチームにより定期的(毎週水曜日)に
病棟回診を行っている。

・栄養サポートチームによる患者情報の共有化が図られ、それぞれの対場から低栄養や摂食・嚥下障害
患者に対する検討を行うことで、患者の栄養管理ができています。

コ 摂食・嚥下障害への取組み(2病院)

<神奈川リハ病院>

・平成20年12月に改訂した「摂食・嚥下障害食基準」に基づき、医師・看護師・PT・ST・栄養士等のチ
ームで、安定した経口接種への移行に取り組んでいる。

・現在の対象者は、小児3人(嚥下障害3人)、成人31人(嚥下障害17人、摂食障害14人)である。

<七沢病院>

・摂食・嚥下障害のある患者に対しては、摂食・嚥下障害看護認定看護師と他職種(医師、看護師、管理
栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)によると共に回診することで、多角的な視点からア
プローチを引き続き、実施している。

・NST活動報告・平成21年度(4~6月)実績

・スクリーニング件数 入院患者全員対象 合計(217件)

4月80件、5月58件、6月79件

・NST回診件数 合計(18件)

4月5件、5月6件、6月7件

・NST回診依頼人数 合計6人

4月 新規依頼1人(うち前月からの継続3名)

5月 新規依頼3人(うち前月からの継続1名)

6月 新規依頼2人(うち前月からの継続3名)

毎週水曜日 所要時間1時間から1時間30分

・NST依頼内容

「摂食嚥下障害」

食形態アップ

4月2件、5月3件、6月2件

・食形態のアップが無理な場合でも、嚥下評価、間接訓練の提案、現在の食形態の確認(患者の状態に
あっているか)、他科受診(耳鼻科受診)、経管栄養剤の投入方法、栄養計算等、患者の誤嚥防止、
栄養状態の改善に貢献している。

<両病院>

平成21年6月6日、地域支援センターの主催する研修で、「嚥下・摂食障害のリハ」で講師を行い

総勢80名の受講者に専門研修を行った。センター職員8名も参加し研修を受けている。

(神リハ病院耳鼻科医、OT、栄養士、七沢病院嚥下・摂食障害認定看護師らが講師として協力している)

サ 再生医療後のリハビリテーションの研究への取組み(2病院、研究部)

上半期実績なし

(4)地域支援センター機能の充実

ア リハビリテーション専門相談の充実

＜綾瀬市とのモデル事業構築＞

- ・5月13日 綾瀬市と打合せ
綾瀬市、地域支援センター、福祉監査指導課の三者で協議、2年間のモデル事業として取り組むこととし、綾瀬市の中でいろいろな人材がいるが、その人材の横の連携を深めることを目的に委員会を立ち上げることとなった。
- ・6月24日 綾瀬自立支援協議会事務局会議へ趣旨説明
- ・7月8日 綾瀬自立支援協議会へ趣旨説明
- ・7月30日 綾瀬市、地域支援センター、福祉監査指導課の三者で最終確認
- ・9月15日 初回「綾瀬市地域リハ推進連絡会議」開催予定。
- ・綾瀬市役所、基幹病院、ケアマネ協会、医師会も協力的である。リハのパイロット的取り組みであるが、神奈川力構想に記載のある、リハ人材の育成、リハ連携システムにつながることから、県も積極的に協力していくこととなった。

イ 専門職員研修の充実

- ・21年度新規研修、参加しやすい工夫
 - ①補装具専門研修 22年2月23日開催
 - ②変形股関節症の理学療法 21年6月27、28日開催
 - ③プログラムに載っていない地元での出張研修(出前研修)については、リハ専門研修として実施すべき内容であることと、講師が対応できれば依頼に応じて実施していく。
9月16日綾瀬市役所で「身体に優しい身体介護」をテーマに開催する。
 - ④公共交通従事者研修 11月17日開催の場所を綾瀬市役所で開催予定。

ウ リハビリテーション情報の提供

- ・ホームページを充実するための新たに入れる内容(案)

- ①よくある質問(検索機能)
- ②特殊相談事例
- ③研修会テキスト

- ・地域支援センターだよりの創刊 平成21年5月

- ①地域支援センターの事業の紹介
- ②リハ専門研修の案内
- ③専門相談の実績
- ④相談事例の紹介

エ 一般県民等に向けたフォーラムの開催

- ・平成22年2月13日(土)労働プラザで開催する。
特別講演は大田仁史先生による「地域におけるリハの展開手法と理念」(仮)をテーマに開催。
シンポジウムは「神奈川県におけるリハビリテーションの連携と人材育成」(仮)をテーマに開催。

オ 高次脳機能障害支援普及事業の充実

- ①高次脳機能障害者支援の充実・地域連携を進めるため、21年度は相模原市との連携・強化を図る。
8月19日相模原教育会館で「支援システム検討委員会」を開催する。実態調査、研修会、事例検討会の開催などを議題とする予定
- ②高次脳機能障害セミナー(実務編)の講演集の作成
このセミナーでの講演内容を記録に残し、医療福祉の現場で活用できるよう講演集としてまとめ、関係団体等に配布を行った。
「脳外傷による高次脳機能障害」(神奈川リハ病院リハ科 大橋正洋)
「高次脳機能障害を考える」(神奈川リハ病院 心理科 下田正代)
「脳外傷による高次脳機能障害とOT科の取り組み」(神奈川リハ病院 作業療法科 梅村文子 他)
「高次脳機能障害者の相談支援」(神奈川リハ病院 医療福祉総合相談室 瀧澤学)
- ③「高次脳機能障害講演&シンポジウムin平塚」への協力
6月28日実施(脳外傷ナナの会が主催)
講演「高次脳機能障害の概要」(神奈川リハ病院 リハ科 鄭健錫)

(5)研究・開発機能の充実

ア 臨床的・実践的な研究・開発の推進

- ・現在、各研究員より平成22年度からの研究計画(3年計画)のヒヤリングを実施し、取りまとめを行なっている。

(研究テーマ)

- ①障害児者におけるリハビリテーションアプローチに関する研究
- ②障害者に関する福祉学・医学的研究
- ③障害児者に関する計測的・工学的研究
- ④障害児者に関する移動及び姿勢制御等の研究
- ⑤福祉機器の開発及び評価支援システムに関する研究

- ⑥障害児者の生活の質に関する研究
- ・任期付研究員の採用により、ロービジョンに関する研究、障害者の外出援助の研究体制が整えられた。
- ・他大学との連携した研究等
 - ①首都大学東京(藤井)
 - 「福祉のまちづくり」「4輪歩行車による要介護高齢者の歩行支援」
 - ②東海大学工学部 曲谷研究室(永田)
 - 「表面筋電図の分析と義肢制御への応用に関する研究」
 - ③兵庫県立福祉のまちづくり研究所(兵庫リハ) 研究第一グループ(柳原)
 - 「ロービジョン者に配慮した音と光を用いた歩行空間ユニバーサルデザインに関する研究」
- ・学会発表(今年度の実績)
 - ①日本生体医工学会大会(4月 東京 永田発表)
 - 「SEMGを利用した動作認識システムにおける計測電極位置と動作認識精度の関係」
 - ②ロービジョン学会(7月 北海道 柳原発表)
 - 「高齢者・視覚障害者用LED 音響ボールの実用化検証」
 - ③日本福祉のまちづくり学会(8月 藤井・柳原発表)
 - 「要介護高齢者の四輪歩行車を使用した外出」(藤井)
 - 「視覚障害者の移動環境整備に関する研究」(柳原)
 - ④第31回 IEEE生体医用工学国際学術大会(9月 米国ミネアポリス 永田発表)
 - 「モンテカルロ法を利用した動作認識精度に対する表面筋電図計測位置が与える影響の評価」
 - ⑤第10回欧州リハビリテーション工学協会カンファレンス(イタリア フィレンツェ 柳原発表)
 - 「LED照明を用いたロービジョン者の夜間歩行支援に関する研究」

イ 研究体制の見直し

- ・任期付研究員の採用(5月1日)
 - リハビリテーション工学研究室研究員 1名
 - 期間 平成21年5月1日から (3年間)
 - 主な研究テーマ「視覚障害者の移動環境整備に関する研究」
- ・内部職員による流動研究員の実績なし
- ・目白大学保健医療学部作業療法学科 玉垣准教授の研修受入れ
 - 研究テーマ 作業療法士の徒手技術の分析と技術教育の体系化に関する研究

(6)地域の関係機関との連携強化への取組み

ア 福祉施設の地域社会との連携

<七沢療育園>

- ・地域支援班が県の委託により、重症心身障害児の巡回訪問を実施し、個人宅及び作業所などを訪問している。また、活動を通して新たな重心児者の相談を受け、適切なサービスの紹介・提供を各所管の児童相談所と連携をとりながら、実施している。
- (巡回訪問指導:4月6回、5月9回、6月11回)
- ・例年、専門学校の介護実習、高校生等の介護体験等を計画しており、ボランティアの随時募集も行なっている。現在定着しているのが、月2回、入浴時水分摂取お手伝いの方1名、月2回の園庭の手入れに2名である。他、4月から3ヶ月ほど食事介助ボランティアの方を受け入れた。

<七沢第一・第二更生ホーム>

- ・講師派遣の実績
 - ①地域支援センター主催の研修講師2件5人派遣
 - ②神奈川県サービス管理責任者研修関係会議と実践講師1人延べ16日
 - ③ローリングパレー審判講習講師1人1日
 - ④市町村ガイドヘルパー講習会2件2人4日
 - ⑤障害者の調理方法研修講師1人1日
 - ⑥厚生労働省委託調査研究への参加1人3日
 - ⑦厚木・愛川地区自立支援協議会への参加
- ・更生ホームの事業展開に対しての視察希望・支援学校の卒業後の進路指導として教員・保護者・当事者の見学希望また教員の体験研修や資格取得の過程で必要な学生の単位実習の受け入れ・行事や所内訓練でのボランティア導入など、これまで通り積極的に受け入れ対応している。
 - ①視察受け入れ 行政からの視察4件16人 施設職員の視察2件5人
 - ②研修受け入れ 市町村新任研修1件45人 医療機関MSW対象の事業説明会1件30人
 - ③県立保健福祉大学学生見学実習1件8人
 - ④支援学校見学教員・家族・当事者3件9人
 - ⑤教員の体験研修2項2人
 - ⑥大学生の実習受け入れ1項1名
 - ⑦行事・所内訓練でのボランティア導入多数。今後も市町村民生委員3団体からすでに見学依頼あり。

<七沢ライトホーム>

- ・県内の関係機関で組織する神奈川県視覚障害者生活技術研究協議会が開催する連絡会及び事例検討会に職員を派遣し連携をはかっている。

- ①ロービジョン事例検討会 6月10日(水)
- ②第1回事務連絡会 6月18日(木)
- ③コミュニケーション指導事例検討会 6月23日(火)
- ④歩行事例検討会 6月24日(水) 7月30日(木)

- ・厚木市・愛川町・清川村障害者自立支援協議会の生活支援部会に職員を派遣し、地域との連携を深めている。

- ①第1回生活支援部会 5月29日(金)
- ②第2回生活支援部会 8月11日(火)

- ・実習生の受入れ

- ①北里大学医療衛生学部視覚機能療法学学生2名
5月25日～6月19日の毎金曜日(3回)、7月21日～8月14日の毎金曜日(3回)
- ②藤沢市看護専門学校学生15名 7月3日(金)
- ③横浜市立盲特別支援学校教師8名 7月29日(水)
- ④県立保健福祉大学学生7名 8月3日(月) 8月4日(火)
- ⑤神奈川県立平塚盲学校寄宿舎指導員 8月4日(火)～8月6日(木)

- ・ボランティアの受入れ

- ①ポイントラリー大会に34名 6月6日(土)
- ②神奈川県身体障害者卓球大会に7名の誘導ボランティア 6月7日(日)
- ③神奈川県障害者スポーツ大会フライングディスク競技会に6名の誘導ボランティア 6月21日(日)

<七沢第一・第二更生ホーム、ライトホーム、地域支援センター>

- ・公共交通事業者研修 障害者外出支援・バス利用編
バスの運転手を対象に、講義と車いす、アイマスクを使った実技により、ノンステップバスを利用した乗降場面等を介助する側、される側になって体験することで、障害者理解の促進と安全なバスの利用方法について理解が深められた。

<七沢第一・第二更生ホーム、神奈川リハ病院、七沢病院>

- ・6月24日実施 医療機関MSW対象 見学説明会の開催(40人の参加)
イ 2病院の地域医療機関との連携

<神奈川リハ病院>

- ①厚木病院協会地域連携委員会への参加
- ②神奈川県西部MSW連絡会への参加
- ③地域支援センター兼務の医療福祉総合相談室地域連携担当職員の圏域・市町村障害者自立支援協議会への参加(地域支援センター)
- ④厚木市障害者自立支援協議会ヘルパー研修等への協力(地域支援センター)
- ⑤綾瀬市地域リハ体制整備に向けた試行的取組(地域支援センター)

- ・20年度に東海大学医学部付属病院との検討会を設置した。21年からは、2ヶ月毎に相互の病院で東海大学医学部付属病院医療連携情報交換会を開催している。21年度の開催実績は5/18及び7/13である。

<七沢病院>

- ①地域の障害者の相談・支援に携わる県内医療機関MSWを対象とした「神奈川リハ病院・七沢更生ホーム見学説明会」において、医療福祉総合相談室SWから七沢病院概要説明等を行うとともに、パンフレット・入院申込書等を配布し、地域関係機関との連携を図っている。

- ②厚木市、愛川町、清川村に居住する障害者が住み慣れた地域で安心して豊かに暮らすことができるよう障害者自立支援法に基づく障害者福祉に係る体制の整備等に関する協議の場として設置された自立支援協議会に参加している。

第1回自立支援協議会(生活支援部会)

日 時:平成21年5月29日(金)

場 所:厚木市役所第二庁舎2

テーマ:平成20年度生活支援部会の取組みについて他

第2回自立支援協議会(生活支援部会)

日 時:平成21年8月11日

場 所:厚木市役所 第二庁舎2

テーマ:地域力の充実のためにできること

第3回自立支援協議会(生活支援部会)

12月開催予定

- ・東海大学からの神経内科、脳神経外科医師の派遣を踏まえ、脳血管疾患患者の早期受け入れに向けて、救命救急センターとの連携強化に取り組んでいる。

また、「DrTODr」(東海大学病院等の急性期病院主治医から入院コーディネーター医師へのホットライン)により、発症後症状の安定した患者の早期入れを行い、リハビリテーション医療を提供している。

・大学病院等からの紹介実績

19年度 342件(162件)

20年度 237件(143件)

21年度(4～9月)102件(60件)

* ()内は、東海大学病院からの件数で内数

(7)専門職員の育成

ア 専門研修等の充実

<七沢療育園>

・研修は看護科・支援課と共同で計画・実施している。

「腰痛予防研修(リフティング・ストレッチ)」:4月～6月実施

「摂食、嚥下障害、食事介助勉強会」:6月29日実施

「紙おむつ実技研修」:7月14日、29日実施

・外部研修も日本重症児福祉協会の各種研修(5月14・15日に施設長会実施、他看護師、支援員、看護師長、事務長等対象の研修に順次参加予定)、県社会福祉協議会主催の障害者相談員研修、サービス管理者研修、ボランティアコーディネータ研修(第一回8月3日実施、第二回10月5日予定)等を計画している。

<七沢学園>

a 職場内研修

・医療重度者の支援、医療的ケアの研修

医務課と支援課で4月に対象職員に研修を実施

・緊急時対応のシミュレーション研修

6月29日医務課により実施

・強度行動障害児の支援研修

強度高度障害担当職員による勉強会を児童部門にて7月17日実施

・人権擁護、虐待をテーマに研修

8月4日人権擁護会議スタッフにより実施

b 職場外研修(中央、厚木児童相談所)

・学園研修計画プロジェクトにおいて計画中

c 派遣・交流研修の充実

・自閉症療育者のためのトレーニングセミナー(8/1～/4の4日間)

・就業支援基礎講座(10/30～12/30の間の3日間)

・社会福祉士実習指導者講習会に出張(12/19・20の2日間)

・強度行動障害事例研究会(7/10～3/11の間の4日間、於:中井やまゆり園)

・強度行動障害現任研修(8月、9月の各3日間、2名参加、於:中井やまゆり園)

・中央、厚木、各児童相談所に派遣し体験研修を下半期に予定

<七沢第一・第二更生ホーム>

「頰椎、脊椎損傷について」

日時:4月15日(水) 16:00～

講師:神奈川リハ病院作業療法科 OT3名

スライドとビデオを利用して、脊髄損傷の「バランスを維持するための介助法など」の説明と実技の研修を受けた。

「失語症について」

日時:4月16日(木) 16:00～

講師:神奈川リハ病院言語療法科

スライドとビデオを利用して、失語症者への基本的な対応について説明があり、更生ホーム利用者の失語症について、意見交換等を行った。

「高次脳機能障害 -脳血管障害の場合-」

日時:4月23日(木) 16:00～

講師:神奈川リハ病院心理科

脳血管障害による高次脳機能障害について、スライドを利用して事例報告があった。

<ライトホーム>

勉強会「レーベル病について」

日時:7月7日 16:00～

講師:神奈川リハ病院眼科医

ライトホームの視覚障害原因として増加傾向にあるレーベル病について眼科医に分かりやすく講義してもらう。

研修

昨年に引き続き、職員2名に対し、点字訓練およびパソコン訓練を担当するための所内研修を継続実施している。

< 神奈川リハ病院 >

- ・医療安全管理会議等が企画する病院内の専門研修を企画・実施している。感染対策、医療事故防止、離院離棟防止、集中ケア認定看護師によるBLS演習、新型インフルエンザ対策、接遇、院内暴力対応等23種の研修を実施する。

< 七沢病院 >

- ・患者の人権擁護、医療安全、感染対策等利用者サービス向上のため、研修を開催し、医療従事者として必要な知識の向上に努めている。

・職場内研修(OJT)の充実

所属ごとに、技術の伝承や職場の全体的なレベルアップを図るため、職場内研修を実施している。

①職員研修会

- 4月10日 「身に着けよう防火防災の知識と技術」 参加者 18名
- 5月27日 「感染対策について～当院でよくある諸問題」 参加者 46名
- 6月24日 「接遇研修～クレーム対応～」 参加者 40名
- 7月14日 クロスオーバー2009①(理学療法士) 参加者27名
- 7月22日 「事例から学ぶ医療機器安全について」 参加者22名
- 8月27日 「①介護保険改正とその背景」「②当院患者の在宅生活状況」 参加者47名
- 9月17日 「医療安全研修」 参加者26名

②その他 各種研修会の実施予定

- 2月 七沢病院脳卒中研究会
- 12月 看護研究発表会
- 7月・2月 クロスオーバー2009(理学療法士)
- 11月 作業療法科内発表会

・職場外研修(OJT)の充実

専門分野における最新の技術や知識の習得のため、外部の研修機関や講師による研修を実施している。

- 4月14日 医薬品安全管理と医薬品情報室の役割
- 4月17日 医事事務講習会①
- 5月19日 防災管理講習会
- 5月20日 全国看護師職能集会講演会
- 5月21日 自治体立病院管理者研修会
- 6月16日 看護職員研修管理コースⅢ
- 6月18日 看護職員研修管理コースⅡ
- 6月19日 医事事務講習会②
- 6月22日 病院機能改善セミナー
- 6月24日 給食施設従事者講習会
- 7月4日 感染防止研究会
- 7月22・23日 医療安全リーダーシップ研修会
- 7月30日 臨床栄養学セミナーⅠ
- 7月30日 雇用管理サポートセミナー① 他
- 8月1日 回復リハ棟研修会 病棟師長研修会 他
- 8月20日・9月8日 看護職員研修(専門コースⅠ)
- 8月25日 要介護認定調査員ブロック研修会
- 8月26～28日 リハ工学カンファレンス
- 8月29日 脳卒中の血管内治療セミナー
- 8月9、22日 臨床神経整理技術講習会
- 9月3日 産業医研修会
- 9月3日 雇用管理サポートセミナー② 他
- 9月10日 雇用管理サポートセミナー③ 他
- 9月17日 雇用管理サポートセミナー④ 他
- 9月25日 看護職員研修(専門コースⅡ)
- 9月27日 関東甲信地区輸血検査研修会
- 9月29日 医業経営セミナー

・派遣・交流研修の充実

看護師個人が自己実現とエキスパートに向けて、主体的に取り組む能力形成に、組織として支援体制をとっている。院内外を含め、可能な限り学ぶことに対して支援を行い、個人の成長が組織の財産となるよう計画的に推進している。

- 20年度 摂食、嚥下障害認定看護認定看護師資格1名取得
- 21年度 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程受講
(看護師1名、職務遂行義務免除6月17日～12月16日)

2 利用者本位のサービスの提供と安全対策

(1) 人権擁護と個人情報の保護

ア 人権擁護と個人情報保護への取り組み

<七沢療育園>

- ・個人情報保護、人権擁護、ハラスメントの防止等については日頃の職員同士の声かけ、注意がリスクの予防には重要と認識しており、7月8日の支援課会議、7月15日の看護科会議、7月29日の職員会議において伝達、研修を行なっている。また、朝のミーティング時にも意識付けを行なっている。

<七沢学園>

- ・人権擁護、虐待をテーマに研修
8月4日人権擁護会議スタッフにより実施
職員周知のため課長が各会議において研修を実施
- ・利用者の人権擁護に関する職員の意識向上に向けた取り組みとして、下半期に研修を計画。内容は、研修担当チームが検討する。
- ・人権擁護会議(Aネット協力員)
7月30日より厚木地区グループホーム訪問相談を開始。相談を通じ必要な情報を各会議に提供し、人権に関する意識を高めていく。
- ・青空パーティー
6月18日、4名参加職員引率
- ・苦情解決委員会
7月4日実施。内容について会議等で職員に周知し必要な取り組みは運営会議、職員会議で検討し、委員会に指示した。
- ・オンブズマン来園
毎月1回行い、4月から9月までの相談件数は17件。
相談結果は報告に基づいて人権会議及び当該フロアで検討し対応した。
対応結果はオンブズマンに報告した。
- ・オンブズマンと利用者、保護者とのより良好な関係改善に向け保護者研修会、学園行事等への参加を計画した。

<七沢第一・第二更生ホーム、ライトホーム>

- ・人権擁護・虐待防止についての職員研修実施
不祥事の事例等を踏まえ事故防止に向けた取り組みについて研修を実施した。
更生ホーム平成21年8月4日(火)参加者13人
ライトホーム平成21年7月28日(火)参加者10人
人権研修は継続実施し、人権に関する意識向上に努める事を周知した。班会議を通して伝達する。
- ・毎月、第3者委員3名による苦情解決の取り組みに向けた利用者への相談を実施している。利用者からは、苦情まではいかないが、利用者との対人関係など施設職員には相談しにくいことなどに利用されている。

<神奈川リハ病院>

- ・苦情解決実施状況
4月から9月の苦情件数33件、要望35件、その他6件(受診科相談など)で、回答については郵送、掲示板掲示、利用者への直接回答などで対応した。
また、意見箱や来室された直後に関係部署へ連絡し、要望や苦情が速やかに解決できるよう取組んだ。
他施設の資料を収集して研究を行うなどもしている。
9月に苦情対応マニュアル検討会議を設置して、本格的な検討を開始し、21年度内のマニュアル完成をめざしている。

<七沢病院>

- ・医療従事者として、利用者に対する患者本位の医療の重要性和個人情報保護に対する必要性があることから、研修会を開催し意識啓発に取り組んでいる。
- ・その他
離院防止及び防犯対策として監視カメラの設置にあたり七沢病院倫理委員会を開催し設置と使用方法について審議し、利用者及び職員の人権の尊重につとめた。
監視カメラ設置(7月27日)
- ・苦情解決実施状況
アドボカシー室に専従の職員を配置し、利用者の立場に立った迅速かつ適切な苦情解決に向け引き続き取り組んでいる。また、苦情等については、毎月取りまとめ、病院経営会議に公表し情報を共有することで利用しやすい施設運営に努めている。また、クレーム対応として職員研修を6月24日に開催した。
平成21年(4~9月)苦情等件数50件

(2)利用者サービスの向上対策

ア 支援マニュアルの見直し(七沢療育園、七沢学園)

<七沢療育園>

- ・看護科・支援課の業務マニュアルを主に、整理を行い、PCの療育園サーバーに、マニュアルフォルダーを作成している。資料等はPDF化していつでも見られるように整理をしている。

<七沢学園>

- ・前年度支援マニュアルを作成。内容は「人権」「成人部門」「児童部門」「地域福祉」「強行事業、医療重度」であり、今年度はこれらの全ての内容を点検し、随時、加筆修正作業を実施した。今後、不足している項目についても、新たに作成予定。

イ 発達障害児に対する支援プログラムの整備(七沢学園)

- ・児童年長利用者の概ね半数が発達障害の診断や疑いのあるケースである。個別の障害特性を整理し、発達段階に応じたプログラムを家庭や地域で汎化できるよう家族、児童相談所、学校等と連携を図った。(養護学校訪問部との連絡会は毎月1回実施)
- ・18歳を迎えた児童には児童相談所から福祉事務所への引継ぎ、学校の進路活動との連携を図っている。(養護学校高等部との業務連絡会は8月6日実施)

ウ 在宅障害児の集中療育の支援プログラムの見直し(七沢学園)

- ・平成18年度の集中療育枠は3名だったが、平成19年度～20年度は3～4名枠で推移した。平成21年度は4～5名枠で運営している。なお、平成21年度末に長期入所者3名の退所が予想されるため、平成22年度は枠を広げられる等、徐々に目標枠に近づけられそうである。
- ・平成18年度の集中療育受け入れは10名の入所者、平成19年度は12名、平成20年度は23名と利用者は増加している。また、平成21年度は上半期で12名の利用が予想されている。
- ・平成21年度当初で20数名の待機者があり、8月1日現在でも22名の待機児童を抱えている。
- ・利用目的には、生活リズムの立て直し、排泄訓練、体重コントロール、身辺処理の自立、コミュニケーションの拡大といった直接的なケアのもの、母子分離、集団適応能力観察、心理評価、行動観察・評価など、間接的なケアなもの、レスパイト、一時的な養護性、長期施設待機などの付随的のものや、擁護環境の整備、不登校の改善、行動改善といった地域関係機関を巻き込んで精力的に関わる必要のあるものまで様々である。

エ 日中訓練プログラムの充実(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、七沢ライトホーム)

<七沢第一・第二更生ホーム>

「教育講座の開催」(4月6日)

「就労自立セミナーの開催」(5月15日)

元利用者を招き、病院でのリハビリや更生ホーム入所中の訓練を通して就労への道筋や心構えを復職や就労をめざす利用者に対し講演した。

<七沢ライトホーム>

- ・利用者の目的に応じた訓練内容を整理するために以下のことについて検討している。

「基礎プログラムの再編検討」

「誘導歩行を歩行訓練から感覚2へ移行」

「疾患別プログラム(糖尿病)の検討」

「その他の訓練項目の再編成のため、各種訓練担当項目出しを検討」

「新メニューの検討」

PC訓練用テキストビスタ版の作成

フライングディスク等の採用(講師を呼んで研修会を実施)

クラフト等の試行(訓練及び行事)

オ 中期入所サービスへの取組み(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム、七沢ライトホーム)

- ・上半期実績なし

カ 高次脳機能障害への取組み(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム)

- ・7月24日 高次脳家族懇談会の実施

サ 若年の脳血管障害者や頸髄損傷者への支援(七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム)

- ・検討会等により取組みを進めている。

シ 視覚障害者への訪問訓練の導入(七沢ライトホーム)

- ・入所者、通所者、退所者を対象に、訪問訓練を試行的に実施し、来年度の本格実施に向けて検討していく。

・入所者への訪問訓練

入所者2名に対して、退所後の生活が予定されている自宅周辺の歩行訓練と居宅内整備のための日常生活動作訓練を訪問で実施した。

・通所者への訪問訓練

通所による機能訓練を希望している利用者に対してライトホームへの通所が単独できるようになるための歩行訓練を実施しているところである。

・退所者への訪問訓練

自宅の転居と駅周辺の改造工事に伴って、歩行訓練を希望する退所者に環境把握と安全な移動のための訓練を9月から訪問で開始する予定である。

ス 視覚障害者への新たなスポーツ・レクリエーションへの取組み(七沢ライトホーム)

・スポーツ

「フライングディスク(FD)競技」の紹介、練習を開始し、H21.6月の県障害者スポーツ大会に6名が参加した。

・レクリエーション

日常生活動作訓練の一部として、「手編み」、「布ぞうり作り」、「折り紙」などを実施した。

・訓練プログラムの一環としての木工教室で、視覚に障害があっても製作することができる紙バンドを使った「カゴクラフト作り」と「竹風鈴作り」を実施し、文化祭の作品として展示した。日ごろの訓練への意欲を喚起する行事としての役目も持っている。

セ 神奈川リハ病院との連携によるロービジョン(低視覚障害)者の受け入れ(七沢ライトホーム)

・外来・短期入院への支援

毎週火または水曜日に外来患者、短期入院がある場合には必要に応じて支援している。

個別の患者への実際のリハに関する情報提供、訓練等実施を実施している。

ORT(視能訓練士)に対して視覚障害リハに関する研修を行っている。

現在利用中の3名(入所1名、通所2名)がLVクリニックを経由してきた方である。

・医療関係者への情報提供

KLVN(神奈川ロービジョンネットワーク)事務局支援を通して、医療関係にロービジョンサービスを行っていること等を周知している。またLV患者を紹介してくれる医療関係者へ当施設で行っているリハビリ・相談内容に関して具体的な情報を提供している。

ソ 障害者歯科診療の実施(神奈川リハ病院)

・今年度の診療実績(4-9月)は、延べ1,615件である。

タ 禁煙外来の設置(神奈川リハ病院)

・病院禁煙を推進するため、21年8月から入院承認通知に病院禁煙と禁煙外来受診の案内を同封した。

今年度(4-9月)の禁煙外来延べ患者数は25人である。

チ 病院のリハ情報システムと福祉施設の利用者情報システムとの連携

(神奈川リハ病院、七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホーム)

・上半期実績なし

ツ 土曜日リハビリテーション訓練の実施(七沢病院)

・入院患者の早期離床、ADL向上を推進するため、理学療法、作業療法、言語療法の土曜日リハ訓練を引き続き実施するとともに、呼吸訓練を必要とする患者に対して土曜日、日曜日にも訓練を実施している。

①理学療法科

訓練実施日:毎月第2・4土曜日

平成21年度(4~9月)実績 4,291単位(平成20年度実績 8,505単位)

②作業療法科

平成21年度(4~9月)実績 127単位(平成20年度実績 275単位)

③言語科

平成21年度(4~9月)実績 140単位(平成20年度実績 303単位)

・訓練が休日に行われることで、家族が訓練の状況を把握することができると好評である。

テ 病棟内リハビリテーション訓練の実施(七沢病院)

・早期離床、ADL向上を推進するため、リハスタッフと看護職員が連携し病棟内訓練を引き続き実施している。

①理学療法士

早期離床、ADLの向上のために、病棟でベットサイドでの呼吸訓練、起居動作訓練、移乗動作訓練、歩行訓練等。

②作業療法士

ベッドサイドでの起居動作訓練、更衣動作訓練、トイレ等での排泄動作訓練、食事動作訓練等。

③言語士

摂食・嚥下障害患者に対して、実際の食事場面での摂食・嚥下機能の評価・訓練。

ト 作業療法訓練(パソコン訓練)の充実(七沢病院)

・作業療法科の訓練の充実を図るために、インターネットに接続したパソコンを2台設置。

ナ レセプトのオンライン化の推進(2病院)

・4月より導入し、運用を開始している。

ニ オーダリングシステムの導入に向けた検討(2病院)

・2病院総務課情報担当者、総務課電算システム担当、企画財務課と導入に向け、検討を行なっている。

ヌ 電子カルテシステムの導入に向けた研究(2病院)

・他病院の導入実績について調査を行なった。

(倉敷中央病院、大阪府立急性期・総合医療センター)

(3)自己評価・第三者評価等の推進

ア 第三者評価の推進(5福祉施設、2病院)

<七沢療育園>

- ・近い将来、児童施設から療養介護施設移行の可能性が高く、移行に向けての課題整理が重要な要件となっている。このことから企画プロジェクトを立ち上げ、検討を図っていく体制をとっており、第三者評価受審は、療養介護施設移行後もしくは動向が定まってからが適当と判断している。

<七沢学園>

- ・6月2日に社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価機関かながわより「グレードⅡ」の説明を受ける。児童は対象外で成人だけの単独受診は、対外的アピールの点でも効果が薄いこと。また、評価に整備中の内容や今後取組みによるものもあり、作り上げる課題があること。これらの点から今年度内の受審は延期とし、引き続き受審に必要な準備を進める。

<神奈川リハ病院>

- ・平成22年度の受審に向けて、職員2人が平成21年6月22日に(財)日本医療機能評価機構主催の病院機能改善支援セミナーに出席するなどして新たなバージョンに関する情報を収集し、研究を行っている。
- ・また、受審に向けて病院の理念の見直しに取り組むこととし、先ず、職員から意見公募を行って平成21年7月1日病院経営会議においてとりまとめを行った。

<七沢病院>

- ・23年度に認定期間が終了することから、財団法人日本医療機能評価機構開催の「病院機能改善支援セミナーの新評価項目(Ver.6.0)解説」に出席するなど情報収集を行っている。

イ 自己評価や利用者満足度調査の推進(5福祉施設、2病院)

<七沢療育園>

- ・下半期に実施予定

<七沢学園>

- ・自己評価の大項目については、規則に定められた共通項目で捉えることとするが、細目については、施設の特性を踏まえた評価内容として実施する。年度末実施予定。
- ・利用者満足度調査については10月に実施予定。

<七沢第一・第二更生ホーム、ライトホーム>

- ・下半期に実施予定

<神奈川リハ病院>

- ・平成21年8月4日に患者満足度調査部会を開催した。
- ・入院患者を対象として平成21年9月中旬に、また、外来患者を対象として平成22年1月下旬に調査を行うこととし、あわせて実施手順、調査項目、役割分担などについて協議を行った。

<七沢病院>

- ・利用者満足度調査 10月19日～11月2日実施予定
- ・食事アンケート 8月27日実施
- ・利用者の満足度向上のためコンサート等のボランティア活動を推進している。
5月5日 ロビーコンサート、5月9日 看護の日コンサート、6月4日 バイオリンコンサート、
7月4日 たなばたコンサート
書道教室 月2回、囲碁将棋教室 月1回、音楽療法 月1回、院内移動図書 週1回、
厚木市移動図書 月2回

(4)安全対策の推進

ア 安全対策への取組み

<七沢療育園>

- ・年度の運営計画に基づいて実施している。
警備室からアドバイスをもらい、利用者の避難訓練及び消火訓練は毎回実施している。
また、年に1回は業者を呼んで、放水訓練等を実施している。
- ・避難及び消火訓練の実施状況(4/25、5/21、6/18、7/23、8/20、9/17)、6/8通報伝達訓練

<七沢学園>

- ・職員緊急連絡網を作成。防災訓練計画に基づき毎月避難訓練、消火器訓練を実施。6月は消火器、消火栓等の取扱い研修を実施し、7月は通報訓練を実施した。5月13日に避難経路、障害物の点検を実施。

<七沢第一・第二更生ホーム、ライトホーム>

- ・毎月、更生ホーム及びライトホームで防災(避難)訓練を実施。訓練は毎回テーマを設定し実際の運用が円滑に行えるよう工夫している。
- ・防災(避難)訓練実施状況
更生ホーム 4月15日 防災訓練、4月30日 5月27日 7月15日 8月26日 9月30日 避難訓練
ライトホーム 4月22日 5月25日 6月25日 7月28日 8月28日 9月16日 避難訓練
更生・ライトホーム合同避難訓練 6月30日(火)、10月28日(水) 予定

< 神奈川リハ病院 >

・医療安全対策のための取り組み状況

①4月21日 離院・離棟捜索訓練

新規採用職員を含め神奈川リハエリア全職場職員を対象に病棟の高次脳機能障害の患者さんの離院・離棟を想定した院内外捜索訓練を実施した。

②6月30日 院内暴力対応訓練

面会者2名が病棟内で暴漢として威力業務妨害行為を行う設定で、病棟職員の暴漢への対応、院内勤務者への暗証コードでの院内放送、応援チームの病棟参集、厚木警察署への通報・出動要請及び実際の警察官の派遣を一連の流れで行い、部外者による暴言・暴力行為に対する医療従事者としての対応・態度及び職員の応援体制の確保並びに警察官の出動等、利用者並びに職員の安全の確保をはかるための模擬訓練を実施した。

③5月14日 新型インフルの発熱外来訓練

平成21年4月に発生した豚インフルエンザ由来の新型インフルエンザH1N1に対応するため、平成21年5月に、実地シミュレーションを行った結果などを踏まえて、「新型インフルエンザ(H1N1)院内対策マニュアル Ver. 1」を作成した。

今後、冬の流行期に向けて、このマニュアルを基礎として、強毒型インフルエンザに対応したマニュアルの整備に取り組む。

・新採用職員防火防災教育訓練の実施

日時:平成21年4月6日(水)午後13:30

- 訓練内容: ①防火防災基本知識の講義
②避難経路の確認と避難器具の実地訓練
③消火器の実地訓練をおこなった。

< 七沢病院 >

・リスクマネジメント会議

4月9日、5月14日、6月11日、7月9日

・医療安全管理会議

4月21日、5月19日、6月16日、7月21日

・実施済み対策

A館正面玄関監視カメラ設置、老人ホーム下入り口扉設置、外周路車両走行注意喚起看板設置
危険箇所にチェーンを設置

・新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザ対応マニュアルの整備を5月22日に行なった。

・防災マニュアルに基づき、次のとおり実施している。

①新採用職員防災訓練

実施日:平成21年4月10日

参加人員:18人

内容:七沢病院エリアの防火防災管理体制、避難経路・消防設備設置場所の確認、消防設備の取扱説明及び実技など

②平成21年度防火防災管理会議

開催日:平成21年7月28日(火)

内容:防災訓練実施に向けた日程及び訓練内容について

③平成21年度七沢エリア秋の防災訓練

実施日:平成21年9月16日

内容:避難誘導、避難器具の取り扱い、トリアージ訓練、消火器・屋内消火栓の実地取り扱い訓練

3 効果的・効率的な運営

(1)採算性に配慮した運営

ア 利用計画の目標値の達成(5福祉施設、2病院)

< 神奈川リハ病院 >

・病院長を中心に、当初計画の達成に向けて、次のとおり取り組んだ。

①入院審査会(毎日開催)

②DrTODrの紹介患者早期受入れ

③入院患者確保対策(39病院に対して病院訪問を実施、入院案内・申込書・入院目安を67病院に郵送)

< 七沢病院 >

・第2・4火曜日開催の病院経営会議において、年度計画数(目標値)に対する利用率、収支等についての状況報告を行い、目標達成に向け取り組んだ。

イ 利用率向上への取り組み(5福祉施設、2病院)

< 七沢療育園 >

・児童相談所からの依頼で個人宅や作業所等の巡回訪問を業務とする地域支援班担当職員は、地域実情をしっかりと把握し、必要とあれば施設利用相談を丁寧に進め利用につなげている。

(巡回訪問指導:4月6回、5月9回、6月11回)

また、月2回の審査会では、地域支援の観点から、利用の可能性を主に審査し、積極的な利用を図っている。

<七沢学園>

- ・6月7日に実施した県内養護学校35校との業務連絡会において事業PRを行なう。
- ・保護者会において事業説明、特に日中活動内容説明と見学及び給食会。
- ・7月～8月に3回就労移行事業見学会生徒100名、保護者、教員など140名の総勢240名の参加があった。
- ・地域支援として緊急一時保護者のケアを入所によって養うフォローをしている。
- ・就労移行支援を希望される方に短期利用制度において入所支援、日中支援で受け入れ利用、進路の判断材料を提供している。

<七沢第一・第二更生ホーム>

- ・6月24日 地域医療機関説明会実施
- ・平成21年6月24日に、病院のメディカルソーシャルワーカーを対象とした神奈川リハ病院及び七沢更生ホームの見学説明会を実施し、神奈川リハ病院や七沢第一更生ホーム、七沢第二更生ホームに対する理解を深め利用率の向上に努めた。(参加者50人)

<ライトホーム>

- ・7月25日 生活訓練体験会(6人参加)
施設機能の広報及び利用者の開拓を目的に実施。平成20年度までは一日体験入所として年2回実施していたが、平成21年度より実施回数を増やし年4回を計画し利用者の確保に努める。
- ・横浜市及び川崎市の福祉事務所を訪問してライトホーム入所に向けた働きかけを行っている。

<神奈川リハ病院>

- ・入院審査会を毎日開催し病棟の入退院・急患受入可能病棟・待機患者状況を把握して利用率向上に努めている。入院患者数が258人を超えた場合には、さらに病棟医長、病棟科長を召集しベットコントロール会議を開催して、効果的なベット管理を行う体制になっている。

なお、21年度ベットコントロール会議の開催実績はまだない。

<七沢病院>

- ・入院審査会の毎日開催
院長を中心とした医師、看護師等による入院審査会(入退院コーディネーター会議)を毎日(水曜日除く)開催し、緊密な連携を図り、病棟毎の入退院の状況や待機患者の情報を共有し、効率的なベッドコントロールにより利用率の向上に努めている。
- ・DrTODrによる患者の早期受入れ
入院コーディネーター医師と紹介医師とのホットラインによる速やかな受け入れや、空きベッドの有効利用、待機患者の早期入院により、利用率の維持向上に努めている。
- ・空床情報の送付
入院患者が減少する夏季の患者確保対策として、紹介病院の入院担当者あて、毎週月曜日にファクシミリによる空床状況を発信している。
送付先病院からの電話による問い合わせが増えるとともに、入院申込みにつながったケースもあり、患者確保に向けて有効な方法の1つとなっている。
平成21年6月30日～ 26病院へ送付開始
平成21年7月27日～ 12病院へ追加送付開始
平成21年9月8日～ 6病院へ追加送付開始

ウ 医師・看護師の確保への取組み(2病院)

<2病院>

- ・インターンシップの実施
看護学生に病院で実際の看護に触れてもらうことにより、リハビリテーション看護への理解を深めてもらい就職につなげることを目的に実施した。
神奈川リハ病院 8/3～8/5 2泊3日 参加者30人
七沢病院 8/5～8/7 2泊3日 参加者12人
- ・合同就職説明会への参加
業者主催の就職説明会に参加し会場にブースを設け、看護学生及び既卒者に対し事業団2病院の説明を行い就職へのアプローチを行った。
4/18東京、7/4盛岡、7/12札幌、7/26東京、9/21横浜
- ・学校主催の就職説明会への参加
看護師養成校主催の就職説明会に参加し、看護学生に対し事業団2病院の説明を行い就職へのアプローチを行った。
6/6岩手看護短期大学、7/25神奈川県立平塚看護専門学校、8/19神奈川県立保健福祉大学
- ・看護師養成校訪問
今年度卒業する看護学生ばかりでなく、来年度以降に卒業する看護学生の確保も視野に入れ、県内・県外看護師養成校訪問を実施した。
5/12～7/30 66校訪問(県内・都内21校、県外45校)
9/17～11/5 30校訪問(県内・都内11校、県外19校)
- ・看護学生への合同見学会の実施
病院見学については、随時受け入れているが、看護学生が参加しやすいよう夏休み 期間に合同見学会を実施した。
8/20 参加者15人

< 神奈川リハ病院 >

- ・正規職員として、泌尿器科医師2人、内科医師1人、整形外科医師1人を採用した。
- ・その他、医師紹介業者を活用して小児科非常勤医師1人を採用した。
- ・精神科医師の確保については、北里大学と調整を行っている。

< 七沢病院 >

- ・病院長が医師を派遣している大学(医局)へ派遣依頼の訪問を実施した。東海大学(4月)、北里大学(4月)、東海大学と連絡会(8月)を実施
- ・21年4月泌尿器科医師採用ができた。
- エ 効果的・効率的な職員配置(全所属)

< 七沢学園 >

- ・10月以降に業務及び支援内容の実態調査を行い、検証する。
- ・2階フロアの日中支援員、入所支援員の配置見直し検討。
- ・科目別班支援プログラムの作成中。
発達訓練、感覚訓練、精神機能訓練、体育グループのプログラム検討。心理、OT、PT、体育等がリハとの連携を図っている。

< 七沢第一・第二更生ホーム >

- ・看護職員欠員に伴い夜勤専門非常勤職員の雇用(平成21年6月より)
- ・生活支援員3名、事務職員2名、ケースワーカー1名の臨時職員雇用

< 七沢病院 >

- ・22年度に向け職員課と調整し、定年退職者を診療報酬対象の職種に振替し収入の増を図る。
理学療法助手→作業療法士

オ 予算・執行事務の適正管理(全所属)

< 七沢第一・第二更生ホーム、七沢ライトホーム >

- ・年度当初に、当初予算及び前年度決算の状況を福祉施設経営会議や職員会議で説明し、指定管理者制度における経営破たんリスクを伝え、利用料金収入に見合った費用執行の重要性を伝えている。
- ・毎月、施設の利用状況及び収入分析について事業団経営会議や福祉施設経営会議で報告し、施設収入に見合った費用の執行を行い、適切な施設経営に努めている。

< 七沢病院 >

- ・予算・決算事務を引き続き行うとともに、予算執行状況や中間決算状況を事業団経営会議や病院経営会議に報告している。また、常に問題意識を持ち主体的な病院運営に努めている。
- ・四半期毎の決算見込みと原価計算書の作成。
- ・毎月経営状況の分析を行うとともに、病院経営会議及び事業団経営会議へ報告し、適正な事業管理に努め、効果的・効率的な予算執行を行っている。

カ 広報活動の推進(全所属)

< センター全体 >

- ・現在のホームページは、平成17年度のリニューアルから4年が経過しているため、各所属の代表者からなる「センターホームページ改修チーム」を立ち上げ、①簡易な操作性の実現、②各施設サイトのサイト監理、③障害者・高齢者への配慮、④デザイン性を考慮し、全体を通じた構成等に関する見直し作業を開始した。

< 七沢学園 >

- ・福祉施設共通の広報紙(広報活動担当)を8月6日に基本フレームを作成。
- ・定期的なホームページの更新を情報管理担当を中心に行なう。

< 七沢第一・第二更生ホーム、七沢ライトホーム >

- ・施設内でパソコン委員会を開催し、七沢更生ホーム、七沢ライトホームのホームページ検討会議を7月22日(水)に開催

< 神奈川リハ病院 >

- ・ホームページの充実に向けては、年間計画に沿って見直しを進めている。

< 七沢病院 >

- ・ホームページの充実に向け、利用者むけにリハ局各科の紹介掲載を検討

(2)収益の確保対策と経費の節減対策

ア 収益の確保対策(5福祉施設、2病院)

< 七沢学園 >

- ・就労移行支援事業見学会の実施
主として、養護学校高等部の生徒と保護者を中心に、就労移行支援事業の紹介と体験の場を提供し、就労移行支援事業の利用者確保を図った。
(実施日:7月29日、8月5日、8月12日、参加者:延べ240人)

< 七沢第一・第二更生ホーム >

- ・入所利用者の減に伴う空床を活用し積極的に短期利用者を受け入れ、6月には前年同月比6人増となった。

< 神奈川リハ病院 >

- ・病床の有効利用による増収確保
入院審査会を毎日開催し、各病棟の入退院・急患受入可能・待機状況を把握して利用率向上に努め、安定的な収入確保に努めた。緊急入院受入患者(4-9月)は140人で、入院全体に占める比率は20.6%である。
- ・入院期間の短縮化の推進
6月まではかなり高い数字で推移していたが、7月は病院をあげて入院期間の短縮に取り組んだ結果、70.4日から54.3日に短縮が図れた。
- ・請求もれ、査定減対策等の推進
査定減通知書に基づき査定減の原因をレセプトと照らし合わせ、再審査し、医療局にフィードバックして再審査をしている。外来放射線料(CT・MRI)の病名もれによる査定減対策として、レセプト請求前にリストで医師に病名もれチェックをしてもれをなくすように努めた。7月からレセプト事前チェックに専門職員を増員して内容チェックを強化した。査定減対策分科会は毎月開催し、査定減率20年度1.04%に比べて、21年度実績(4-8月)は0.87%となっている。

< 七沢病院 >

- ・病床の有効利用による増収確保
入退院コーディネーターによる調整を毎日行うとともに、リハ情報システムによる入退院状況や病床稼働状況を活用し、利用率向上に努めている。
- ・入院期間の短縮化の推進
- ・請求もれ、査定減対策等の推進
「返戻・査定減対策のための勉強会の開催」(隔月開催)
医事業務委託職員と共同で、事例を元に検証し、返戻再請求を行い、収入確保に努めている。
第1回:平成21年6月21日 17:30~18:30
第2回:平成21年8月20日 17:30~18:30
- ・未収金発生防止への取組み
(患者さんへの情報提供や支払い相談の実施)
- ・入院患者やその家族等から診療費の支払い相談があった場合は、SW、医事課担当者が高額療養費制度(限度額適用認定証)等の紹介や分割での支払い方法について随時相談に応じ、未収金の発生防止に努めている。
- ・未収金回収(早期回収のための催告事務の実施)
年金支給月の催告状発行や土曜日、平日の在宅時間の電話連絡により早期回収に向け催告を実施している。
①催告状等の発送:5月、7月、9月 47件
②電話連絡:毎月の支払遅延者等への連絡及び偶数月は特に集中的に連絡し、支払い期日及び支払方法等について再確認を行っている。
- ・個人未集金の回収業務委託に向けた取組み
未集金回収を着実に推進するため、22年度予算要求を行った。
- ・診療報酬改定への対応
22年度診療報酬改定に向けて情報収集に努める。

< 神奈川リハ病院、七沢病院 >

- ・平成21年4月、定期異動において正規職員を配置する等し、次の講習会に派遣して専門知識の向上を図っている。
4月17日 医事事務講習会(基礎Ⅰ)
5月25日 医事事務講習会(基礎Ⅱ)
6月23日 医事事務講習会(統計)

イ 経費の節減対策(全所属)

< 七沢第一・第二更生ホーム、七沢ライトホーム >

- ・療養食加算の請求に伴い、食事カードの変更が必要となり、従前からの3枚複写のカーボン印刷を廃止し、パソコンでの印刷をすることで経費削減を図った。業者印刷1部21円に対し、▲19.23円の節減。
(パソコン0.59円×3枚=1.77円)
- ・コピー機使用料削減に伴う印刷方法の啓蒙

< 神奈川リハ病院 >

- ・医薬品、診療材料等の廉価購入の促進
薬事委員会議や診療材料適正化会議で廉価購入の促進を図った。
薬品:病院事業庁での県立病院全体で使用する薬品を入札に参加し対応した。
診療材料:2病院で使用品目を統一して契約し対応した。(実施時期 平成21年4月)
- ・後発医薬品の購入の推進
20年度の後発医薬品購入実績は、品目数で全薬品の11.3%程度、購入金額で7.2%となった。
- ・医薬品、診療材料等の在庫管理の徹底
薬事委員会議、診療材料適正化会議、OP・ICU会議で適正在庫管理に努めた。
- ・効果的な執行と経費節減に向け、値引き交渉を行い、購入単価などの圧縮と適性在庫維持に努めた。

<七沢病院>

・医薬品、診療材料等の廉価購入の促進

薬品:病院事業庁での県立病院全体で使用する薬品を入札に参加し対応した。

診療材料:2病院で使用品目を統一して契約し対応した。(実施時期 平成21年4月)

・後発医薬品の購入の推進

薬品費の執行削減、患者負担の軽減等のため、採用薬品の見直しを行うとともに、病棟内のデッドストック解消のための払い出し量、在庫の確認を毎週実施して、不足品の追加や余剰品を回収し、最小単位の購入を行っている。

・医薬品、診療材料等の在庫管理の徹底

薬事会議、薬品・診療材料適正管理会議の中で、安価でより有効な品目への採用へ見直しを実施している。

また、必要最小限の在庫を常時徹底し、適正在庫の実現に努めている。

・医療機器の保守点検等について、計画的な対応や消耗品の購入品目が多岐に渡らぬよう、各所属共通品目で対応するよう努めるとともに、入札については、スケールメリットを得るため、福祉施設と合同で行っている。

・患者給食については、契約満了の3年目となったことから、22年度にむけて新たにプロポーザル方式により業者を選定する。

今後の予定は、9月 業者選定、10月 プロポーザル実施、11月 業者決定、1月 業者引継ぎ開始、4月 業務開始

3 収支状況

(単位:千円)

| | 収 入 額 | | | | 支出額 | 収支差額 |
|-------------|------------|-------------------|--------------------------|--------|------------|----------|
| | 指定管理料 | 利用料金 (前年同月料金額) | その他収入 | | | |
| 年間予算額 | 12,210,686 | 5,574,836 | 6,601,683 | 34,167 | 12,210,686 | 0 |
| 上半期計 (a) | 5,621,496 | 2,394,186 | 3,211,590 (3,352,606) | 15,720 | 5,409,936 | 211,560 |
| 下半期 (b) | 0 | 0 | 0 (0) | 0 | 0 | 0 |
| 4 月 | 879,785 | 329,138 | 549,643 (592,408) | 1,004 | 795,756 | 84,029 |
| 5 月 | 792,616 | 277,483 | 513,038 (594,655) | 2,095 | 685,743 | 106,873 |
| 6 月 | 1,541,866 | 996,060 | 543,464 (568,034) | 2,342 | 1,497,659 | 44,207 |
| 7 月 | 825,009 | 254,940 | 567,253 (579,384) | 2,816 | 765,156 | 59,853 |
| 8 月 | 826,390 | 277,095 | 546,997 (540,568) | 2,298 | 687,192 | 139,198 |
| 9 月 | 755,830 | 259,470 | 491,195 (477,557) | 5,165 | 978,430 | -222,600 |
| 合計 (a+b) | 5,621,496 | 2,394,186 | 3,211,590 | 15,720 | 5,409,936 | 211,560 |

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見書

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収入状況(年間計画の50%を目安としている)

利用料金収入は、年間計画(6,527,759千円)に対し3,211,590千円で49.20%の達成率となっている。

福祉施設の利用実績は全体で減となっているが、七沢学園(児童)の入所実績増及び激変緩和加算等により収入計画達成率は57.31%となっている。

2病院の利用実績はともに減となっており、一日平均入院率は両病院で83.63%で、収入計画達成率は48.24%となっている。

支出状況(年間計画の50%を目安としている)

支出について、人件費は予算7,674,976千円(給料・手当等)に対し、3,509,020千円で45.72%の執行率であり、医師及び看護師の確保困難による雇用減である。なお、5月から給料の減額と6月期賞与の支給月数の一部凍結を行っている。

物件費は予算4,019,089千円に対し、1,881,550千円で46.82%の執行率であり、事業計画減に伴う直接処遇費(給食材料費・寝具借上料等)の減により目安を下回っている。

(今期に行った資本的な収支及び支出の状況)

| | 内容 | 金額(千円) | |
|--------|--|--------|-----------|
| 収入の状況 | なし | | |
| 支出の状況 | なし | | |
| 積立等の状況 | 総合リハ事業積立預金(将来の損失への備え等)1,277,926千円、退職給与積立預金1,240,130千円 合計2,518,056千円 【固定負債 退職給与引当金6,609,874千円(積立不足額 ▲5,369,744千円(6,609,874千円-1,240,130千円)】 | 期首 | 2,518,056 |
| | | 期末 | 2,518,056 |

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

(1) 七沢療育園(入所)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|---------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 6,873 人 | 7,115 人 | △ 3.4% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 1,156 人 | 1,150 人 | 0.5% |
| 5月 | 1,185 人 | 1,222 人 | △ 3.0% |
| 6月 | 1,125 人 | 1,185 人 | △ 5.1% |
| 7月 | 1,122 人 | 1,200 人 | △ 6.5% |
| 8月 | 1,184 人 | 1,193 人 | △ 0.8% |
| 9月 | 1,101 人 | 1,165 人 | △ 5.5% |

(2) 七沢療育園(地域支援)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|-------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 165 人 | 215 人 | △ 23.3% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 17 人 | 42 人 | △ 59.5% |
| 5月 | 34 人 | 27 人 | 25.9% |
| 6月 | 27 人 | 37 人 | △ 27.0% |
| 7月 | 25 人 | 43 人 | △ 41.9% |
| 8月 | 26 人 | 39 人 | △ 33.3% |
| 9月 | 36 人 | 27 人 | 33.3% |

(3) 七沢学園(児童・入所)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|---------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 5,119 人 | 5,064 人 | 1.1% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 861 人 | 832 人 | 3.5% |
| 5月 | 868 人 | 867 人 | 0.1% |
| 6月 | 839 人 | 840 人 | △ 0.1% |
| 7月 | 868 人 | 867 人 | 0.1% |
| 8月 | 868 人 | 860 人 | 0.9% |
| 9月 | 815 人 | 798 人 | 2.1% |

(4) 七沢学園(児童・地域支援)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|-------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 590 人 | 689 人 | △ 14.4% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 41 人 | 59 人 | △ 30.5% |
| 5月 | 76 人 | 80 人 | △ 5.0% |
| 6月 | 48 人 | 89 人 | △ 46.1% |
| 7月 | 140 人 | 157 人 | △ 10.8% |
| 8月 | 170 人 | 189 人 | △ 10.1% |
| 9月 | 115 人 | 115 人 | 0.0% |

(5) 七沢学園(成人・入所)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|----------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 12,397 人 | 13,228 人 | △ 6.3% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 2,011 人 | 2,267 人 | △ 11.3% |
| 5月 | 2,089 人 | 2,357 人 | △ 11.4% |
| 6月 | 2,004 人 | 2,202 人 | △ 9.0% |
| 7月 | 2,139 人 | 2,148 人 | △ 0.4% |
| 8月 | 2,144 人 | 2,139 人 | 0.2% |
| 9月 | 2,010 人 | 2,115 人 | △ 5.0% |

(6) 七沢学園(成人・地域支援)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|-------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 202 人 | 203 人 | △ 0.5% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 12 人 | 56 人 | △ 78.6% |
| 5月 | 19 人 | 54 人 | △ 64.8% |
| 6月 | 57 人 | 32 人 | 78.1% |
| 7月 | 23 人 | 15 人 | 53.3% |
| 8月 | 55 人 | 15 人 | 266.7% |
| 9月 | 36 人 | 31 人 | 16.1% |

(7) 七沢第一更生ホーム(入所)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|---------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 1,597 人 | 1,908 人 | △ 16.3% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 270 人 | 300 人 | △ 10.0% |
| 5月 | 310 人 | 334 人 | △ 7.2% |
| 6月 | 289 人 | 328 人 | △ 11.9% |
| 7月 | 279 人 | 310 人 | △ 10.0% |
| 8月 | 269 人 | 310 人 | △ 13.2% |
| 9月 | 180 人 | 326 人 | △ 44.8% |

(8) 七沢第一更生ホーム(地域支援)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|-------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 323 人 | 56 人 | 476.8% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 52 人 | 0 人 | - |
| 5月 | 44 人 | 0 人 | - |
| 6月 | 63 人 | 15 人 | 320.0% |
| 7月 | 52 人 | 16 人 | 225.0% |
| 8月 | 48 人 | 11 人 | 336.4% |
| 9月 | 64 人 | 14 人 | 357.1% |

(9) 七沢第二更生ホーム(入所)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|----------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 11,488 人 | 13,610 人 | △ 15.6% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 1,939 人 | 2,355 人 | △ 17.7% |
| 5月 | 1,979 人 | 2,266 人 | △ 12.7% |
| 6月 | 1,862 人 | 2,161 人 | △ 13.8% |
| 7月 | 1,939 人 | 2,231 人 | △ 13.1% |
| 8月 | 1,919 人 | 2,327 人 | △ 17.5% |
| 9月 | 1,850 人 | 2,270 人 | △ 18.5% |

(10) 七沢第二更生ホーム(地域支援)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|-------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 247 人 | 156 人 | 58.3% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 19 人 | 0 人 | - |
| 5月 | 38 人 | 28 人 | 35.7% |
| 6月 | 43 人 | 36 人 | 19.4% |
| 7月 | 54 人 | 40 人 | 35.0% |
| 8月 | 56 人 | 33 人 | 69.7% |
| 9月 | 37 人 | 19 人 | 94.7% |

(11) 七沢ライトホーム(入所)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|---------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 2,611 人 | 2,141 人 | 22.0% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 454 人 | 349 人 | 30.1% |
| 5月 | 496 人 | 302 人 | 64.2% |
| 6月 | 446 人 | 280 人 | 59.3% |
| 7月 | 460 人 | 334 人 | 37.7% |
| 8月 | 386 人 | 426 人 | △ 9.4% |
| 9月 | 369 人 | 450 人 | △ 18.0% |

(12) 七沢ライトホーム(地域支援)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|-------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 248 人 | 370 人 | △ 33.0% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 51 人 | 51 人 | 0.0% |
| 5月 | 39 人 | 54 人 | △ 27.8% |
| 6月 | 52 人 | 61 人 | △ 14.8% |
| 7月 | 37 人 | 76 人 | △ 51.3% |
| 8月 | 27 人 | 59 人 | △ 54.2% |
| 9月 | 42 人 | 69 人 | △ 39.1% |

(13) 神奈川リハビリテーション病院(入院)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|----------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 45,042 人 | 46,416 人 | △ 3.0% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 7,540 人 | 7,774 人 | △ 3.0% |
| 5月 | 7,563 人 | 8,008 人 | △ 5.6% |
| 6月 | 7,452 人 | 7,754 人 | △ 3.9% |
| 7月 | 7,800 人 | 7,899 人 | △ 1.3% |
| 8月 | 7,688 人 | 7,942 人 | △ 3.2% |
| 9月 | 6,999 人 | 7,039 人 | △ 0.6% |

(14) 神奈川リハビリテーション病院(外来)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|----------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 42,668 人 | 43,391 人 | △ 1.7% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 7,360 人 | 7,264 人 | 1.3% |
| 5月 | 6,543 人 | 7,022 人 | △ 6.8% |
| 6月 | 7,427 人 | 7,437 人 | △ 0.1% |
| 7月 | 7,684 人 | 7,718 人 | △ 0.4% |
| 8月 | 6,889 人 | 6,872 人 | 0.2% |
| 9月 | 6,765 人 | 7,078 人 | △ 4.4% |

(15) 七沢リハビリテーション病院脳血管センター(入院)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|----------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 35,308 人 | 39,361 人 | △ 10.3% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 6,245 人 | 6,891 人 | △ 9.4% |
| 5月 | 6,422 人 | 7,245 人 | △ 11.4% |
| 6月 | 6,254 人 | 6,662 人 | △ 6.1% |
| 7月 | 5,806 人 | 6,660 人 | △ 12.8% |
| 8月 | 5,546 人 | 6,314 人 | △ 12.2% |
| 9月 | 5,035 人 | 5,589 人 | △ 9.9% |

(16) 七沢リハビリテーション病院脳血管センター(外来)

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|---------|---------|----------|---------|
| 上半期計(a) | 5,547 人 | 5,754 人 | △ 3.6% |
| 下半期計(b) | - 人 | - 人 | - |
| 4月 | 967 人 | 1,001 人 | △ 3.4% |
| 5月 | 860 人 | 954 人 | △ 9.9% |
| 6月 | 942 人 | 975 人 | △ 3.4% |
| 7月 | 1,001 人 | 1,024 人 | △ 2.2% |
| 8月 | 895 人 | 906 人 | △ 1.2% |
| 9月 | 882 人 | 894 人 | △ 1.3% |

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

利用状況に関する意見等

七沢第一・第二更生ホームは、来年度の県の障害福祉計画に基づく50名の入所者の地域移行に向けて、入所調整を行なった結果、入所率が下がっている。
また、七沢病院は看護師の充足状況から昨年度1月から行なっている稼働病床数の抑制を引き続き行なった結果、入院利用率が下がっている状況である。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

(1)七沢療育園

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(2)七沢学園(児童)

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(3)七沢学園(成人)

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(4)七沢第一更生ホーム

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(5)七沢第二更生ホーム

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(6)七沢ライトホーム

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(7)神奈川リハビリテーション病院

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 | 7 |
| 5月 | 3 | 3 | 4 | 1 | 0 | 11 |
| 6月 | 6 | 9 | 6 | 0 | 0 | 21 |
| 7月 | 3 | 1 | 9 | 0 | 0 | 13 |
| 8月 | 5 | 1 | 6 | 0 | 0 | 12 |
| 9月 | 4 | 0 | 7 | 0 | 0 | 11 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

(8)七沢リハビリテーション病院脳血管センター

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 6 |
| 5月 | 4 | 1 | 5 | 0 | 0 | 10 |
| 6月 | 1 | 0 | 7 | 0 | 0 | 8 |
| 7月 | 1 | 0 | 10 | 0 | 0 | 11 |
| 8月 | 3 | 0 | 4 | 0 | 0 | 7 |
| 9月 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 8 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 |

6 特筆すべき苦情・要望及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

| 分野 | 概要 | 対応状況 |
|-------|------------------|--|
| 施設・設備 | ・洗面台の高さを変えて欲しい。 | 洗面台の高さは標準であり、昇降式の洗面台にするには、費用等の問題から難しいことを説明し納得していただく。 |
| | ・男子トイレの個室の数が少ない。 | 建物の構造上変更できないものもあり、できる限りの対応を図っていることを説明し、納得していただく。 |
| 職員対応 | ・看護師の対応が悪い。 | 看護局長、病棟科長、外来科長より本人に注意・指導。利用者に説明し、納得していただく。 |
| | ・医師の対応が悪い。 | 院長、医療局長より本人に注意・指導。利用者に説明し、納得していただく。 |
| | ・警備員の対応が悪い。 | 匿名での投書のため、内容確認できず。接遇研修を年間計画として実施していることと、再度警備員全員に言葉遣い等注意するよう伝えた旨掲示。 |
| その他 | ・看護師の対応に感謝。 | 看護局長、病棟科長、外来科長より本人に伝える。今後の励みになることを、利用者に伝える。 |
| | ・医師の対応に感謝。 | 院長、医療局長より本人に伝える。今後の励みになることを、利用者に伝える。 |
| | ・理学療法士の対応に感謝。 | 院長、PT科長より本人に伝える。今後の励みになることを、利用者に伝える。 |

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

| 発生日 | 概要・対応状況等 |
|-----|----------|
| 月 日 | なし |

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

| 実施日 | 対応者等 | 経緯・調査内容 | 調査結果 |
|-----|------|---------|------|
| 月 日 | なし | | |

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指 定
管 理 者

福祉施設の利用率については、身障施設について、県の障害福祉計画に基づく22年度からの地域移行が50名であることから入所調整を行なった結果、入所率が下がっている。下半期に向けては、来年度からの50名の地域移行の完全実施を踏まえながらも、できる限りの利用率の維持向上に努力していく。

病院については、神奈川リハ病院はほぼ利用率を達成しているが、七沢病院は看護師の充足状況から、昨年度1月より稼働病床数を245床から195床に減して運用しており厳しい状況にある。下半期に向けては、全国的に不足の状況にある看護師をいかに確保し、稼働病床数を本来の245床に戻すかが課題であることから、職員課とともに看護師確保対策を引き続き最重要課題として取り組んでいく。

一方でセンター全体としては、新経営計画改訂計画に基づく事業団独自の事業運営に取組み、効果的・効率的な運営が図れた。

施 設
所 管 課

(社福)神奈川県総合リハビリテーション事業団は、指定管理業務を効果的に実施するとともに、法人の効率的な運営に向け、新経営計画改訂計画(平成21年3月策定)に基づき、社会環境の変化や新たな課題に柔軟に対応した取組みを進めていることから、この計画が着実に推進されるよう、今後も指導を継続する。

また、看護師の確保が困難なことから、平成21年度の上半期は、七沢リハビリテーション病院脳血管センターにおいて、許可病床数245床に対して稼働病床を195床で運用してきたことについては、リハセンターの効率的な運営や安定的な収入確保の面から、最優先に解決すべき課題であると認識している。

リハ事業団が看護師確保対策に積極的に取り組んだため、10月からは225床での運用が可能となり、さらに、22年度からは245床での稼働の見通しがたつなど徐々に改善されてきているが、看護師確保対策は、全国の多くの病院が共通して抱える課題であることから、今後も注視するとともに、指導を継続する。

なお、現在、神奈川県総合リハビリテーションセンターの再整備について検討中であることから、その検討状況を踏まえ、次期指定管理に向けた経営改善の推進や医療・福祉サービスの向上の取組みについて検討する必要がある。